

おきちゃんだより



No.59

発行 2013.12 新庄河川事務所 立谷沢川砂防出張所

◆キャンプ砂防IN月山9/2~9/6◆

砂防を学ぶ大学生が、「砂防現場作業体験、地域体験を通じて砂防事業と地域の暮らしを知る」ことを目標に、9月2日～6日にかけて新庄河川事務所管内でキャンプ砂防を実施しました。

当出張所管内では、9月3日と5日の2日間に、砂防堰堤の改築や管理用道路の工事現場、平成23年5月に発生した池ノ台地すべりの大規模崩壊地や、立谷沢川流域の歴史や史跡、砂防事業との関わり等の学習を行いました。



↑コンクリートをバイブレーターの振動で均一になるように締固めています。

【東大沢砂防堰堤管理用道路工事】



↑施工業者の方から工事内容の説明等を受けています。二人とも真剣です！

【本沢第二砂防堰堤工事】

《9/3 学習メニュー》

◎現場体験

「東大沢砂防堰堤管理用道路工事」

…現場見学

コンクリート締固め実習

「本沢第二砂防堰堤工事」

…現場見学

植生マット結束実習

「濁沢川崩壊地現地調査」

…崩壊地の現状の説明



←崩壊についての説明を受けています。
【濁沢川崩壊地】



←月山林道に発生したクラックに興味深そうに観察していました。
【濁沢川崩壊地】

《9/5 学習メニュー》

◎地域学習

「立谷沢川の歴史と文化」

講師：出羽三山神社博物館 渡辺氏

→講師の渡辺先生(中央)から立谷沢川の歴史と文化、信仰に砂防がどのように関わっていたのか、熊谷神社や瀬場地区など地域の史跡をまわり様々な場所でお話を伺いました。

キャンプ砂防ではこの他、新庄河川事務所管内でのホームスティや炭焼き体験等とおし、砂防事業と中山間地の実態を知ることができたのではないかと思います。



「砂防事業に関する講演会」を開きました！



10月31日、北月山荘において、立谷沢地区振興会の齋藤会長はじめ会員の皆様、原田町長及び庄内町役場職員の方々のご参加の下、「砂防事業に関する講演会」が開催されました。講演会では、齋藤砂防副所長より濁沢大崩壊の原因やその後の状況も交えた「事務所業務概要」を、村岡立谷沢川砂防出張所長より「立谷沢川流域砂防事業の近況」について各工事現場の現況写真を用いながら事業の進捗状況を報告しました。また、先日行われた「キャンプ砂防in月山」での地域学習風景を記録した「立谷沢川の歴史(仮称)」の上映を行い、数多く残る立谷沢川流域の歴史や史跡について学びました。

最後に、藤沢事務所長より「これからの地域づくりにおける課題」と題した講話があり、これからの砂防事業は地域の皆さんの安全な暮らしを守るとともに、暮らしに役立つ事業にするため、今後の地域整備をどうするかを皆さんに考えてもらい、意見を出していただくことが必要であり、講話の後、立谷沢地区振興会や町役場の方々と意見交換を行いました。

講演会に先立ち、濁沢川池ノ台地区で崩壊地の現状と対策工事の説明を原田町長へ行いました。



立川小親子ウォークラリー10/2

10月2日、砂防資料館が立川小学校2年生の「親子ウォークラリー」のチェックポイントになり、27組の親子の皆さんが来館されました。

砂防について熱心に学ぶ元気なお子さんの声が砂防資料館に響きました！



↑一番人気のスタンプ！

日に日に寒くなりこれから本格的な冬が始まります。国土の半分以上が豪雪地帯として指定されている我が国においては、毎年のように雪崩災害による被害が発生しており、積雪山間部に住む住民にとって雪崩は大きな脅威となっております。雪崩災害に対する国民の理解と関心を深め、雪崩災害による人命及び財産の被害の防止に資することを目的とし12月1日から12月7日までの1週間は、「**雪崩防災週間**」となっております。

「降雪や降雨の後、**天気が良く気温が上がったとき**」、「**気温が低く古い雪の上に多量の新雪が積もったとき**」は**雪崩の危険信号**です！急斜面など危険な場所には近づかない等、雪崩に気を付けましょう！

「さきちゃんだより」の由来

砂防の「さ」
希望の「き」
をとり、親しみが持てるよう「さきちゃんだより」とネーミングしました！



《立谷沢川砂防出張所/砂防資料館》

〒999-6601
東田川郡庄内町狩川字堅田20-23
TEL 0234-56-2050
FAX 0234-56-2081

<http://www.thr.mlit.go.jp/shinjyou>
立谷沢川砂防出張所ページをご覧ください

～砂防資料館～
開館日：※土日・祝日は閉館しております。
※ご利用の際は事前にご予約ください。

